

テーマ	協創型イノベーション開発手法研修 1日コース - モノとコトを結び新たな顧客価値を創出する - (アフター学習用 ビデオクリップ付き)	日時	9:30~17:10 <集合9:25>
		場所	バーチャル・ クラスルーム
主旨	<p>日本を代表する大企業(日立製作所グループ様、パナソニック様など)で社内研修として実施している内容と同等の内容の研修を、職種、業種業界、企業規模を問わず多くの企業様向けにご提供いたします。</p> <p>『新しい価値を創造して顧客や社会に大きな変化を生み出す』ためには、モノ(製品やサービス)とコト(顧客が明日したいこと)を結びつけて新しい価値を生み出す、といったような、従来には無い考え方ややり方の習得と実践が必要となります。本研修は、これまで個人(イノベーター)に依存していた実践する手順を、コンパクトに4つのステップとして可視化し、身近な製品やサービスを例材にしたワークショップを通じて学んで頂く、体験型の講座です。また、日本企業の強み(集団の強さ)を活かし、良さ(凡人だが皆がプロの集団)を引き出すための、チーム力でこれまで見えなかったことや気付かなかったことを発見していくやり方も併せて学んで頂きます。</p> <p>さらに、実践のためのアフターサポート用として、研修内容をおさらいしたり、実践メンバーに概略説明したりするために、担当講師が講義の概略説明とワークショップの要点を映像化したビデオクリップを見て頂けるようになりました(受講後6ヶ月間)。</p>		
対象者	商品企画、製品戦略、研究開発、設計、品証、生産管理部門の課長、主任技師、技師、研究員など		

時刻	題目	内容
9:30~10:30	- 協創型イノベーションとは何か	- 協創型イノベーション開発手法の、背景目的、考え方 やり方の説明
10:30~12:00	WS1 常識の壁を見える化 <アンラーン=Unlearn(学びほぐし)>	- 顧客が望んでいない、出来ないと思っていることの単語や文言に着目して、自分達が当たり前としている常識の壁を可視化する
昼食休憩		
13:00~14:00	WS2 新しい用途の設定 <リフレーム>	- 常識の壁を超える切り口から、新しい枠組みを生み出す新しい用途を見出す
14:00~15:30	WS3-1、2 仮説インサイトを洗い出す <Insight>	- 新しい切り口で使用されている現在の製品・サービスを深掘して、仮説インサイトを洗い出す
15:30~16:30	WS4-1 アーリーアダプターC1とBenefitを定義 <Value Concept>	- 仮説インサイトに飛びつく顧客アーリーアダプターC1を設定する ※ C1の潜在的な不満点を洗い出し、元になっている行動を変えるアイデア出し、及び、行動が変わることで得られるメリットとベネフィットの定義については、講義にてご説明
16:30~17:10	感想・質問とアドバイス	- 各グループ 感想及び質問とアドバイス

【講師紹介】



(株)ナレッジワークマネジメント 代表取締役 大坪秀昭

■プロフィール

1960年香川県生まれ。大阪大学卒。松下電器、日本HP、日本総合研究所などで、業務改善コンサルタントとして従事。2006年に起業し、日本企業が生き残るため何をどうすれば良いのか、実態に合わせてコンサルティングや研修を実施。

提供物	テキスト類	<ul style="list-style-type: none"> ・研修テキスト 50 ページ程度 パワーポイント形式 ・ワークショップで使用する実践シート エクセルファイル形式 ・事前学習用エクセルファイル
	他	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオクリップ アフター学習用 講義編、WS 編 各 20 分程度 Zoom のビデオクリップ
開催場所	オンライン	
定員	20名	
費用	参加費 お一人 36,300 円/1 日(税込み) ※ 個別企業様向けの実施は可能です。	
問い合わせ	seminar@kwork.jp 宛てにお問い合わせください	